（第３種郵便物認可）　1997年（平成9年）9月17日（水曜日）　経済　（8）

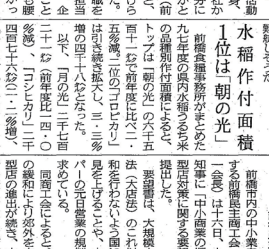
協定廃止、活動も長期化

県内企業の新卒採用　前橋で合同説明会

県内企業の新規学卒者の採用活動が長期化している。例年なら採用活動は一段落する九月中旬になっても、大学に入業を送った行合同説明会に参加するなど、採用活動を継続している企業が少なくない。就職協定廃止に伴う大学生の早期内定を確保した学生が依然として活動を続けていることなどが背景にあられる。十月中旬になって、大学に入学した学生が前橋で開かれた合同企業説明会（上毛新聞社主催）に参加した。約四百五十人の参加者は、「就職協定廃止」を理由に、三十社が新規採用は見合わせるなど、採用活動を中止する企業が相次ぐ中、「学生に熱いまなざしを送っている企業もある」と、説明会に参加した食品チェーンの人事担当者は「学生企業にも活動が長くなっている。とりあえず内定を確保しておけば、ゆとりをもって活動できる」と、学生が焦って内定を確保しようとする傾向を指摘した。

また、住宅販売会社は、ゴールデンウイーク後に学生を対象に、「もう来年の採用準備に取りかからなければならない」とした。「もう来年の採用準備に取りかからなければならない」と、別の外食チェーンも「だ目標のやる気を持ってもらえるまで、続くのでは」と、厳しい時期。今回で今年の採用活動は終わりにしたい」と本音をもらす。

長期化の背景として、人事担当者は①就職協定廃止に伴い大手企業が採用活動を早めたため中堅・中小企業に学生が集まりにくい②協定を絞り込んでいない学生にも内定を出したため、辞退者が相次ぎ追加募集を余儀なくされた③学生に内定を確保した学生が依



真剣な表情で企業の社風や事業を聞く学生

有賀園が来月東京進出

全国最大級の専門店　5年後には30店舗へ

ゴルフ用品やゴルフ会員権の専門店、有賀園ゴルフ（長崎市、有賀照社長）は十月、東京に進出する。売り場面積全国最大級の杉並店で、百貨店内のゴルフショップでは最大級となる錦糸町でも店を相次いでオープン。来年三月には、千葉への出店を考えるなど、今後首都圏に出店数をふやし、五年後には三十店舗網を目指す。

業界では、売り場面積百坪以下が大部分の中規模店が多いため、大規模店の出店を加速することで、関東での地盤を築き全国展開につなげていく考えだ。

同社によると、杉並店は十月八日、杉並区南荻窪三丁目の環状八号線沿いにオープン。鉄骨づくり三階建て、売り場面積は約千四百二十平方メートル。二階がゴルフウエアを中心に五万点、三階はクラブや靴などの十万点のゴルフ用品をそろえる。

JR錦糸町駅前に同月二十二日オープンするもう一つの有賀園は、「そこら錦糸町」として出店する。そこら錦糸町店は、百貨店内のゴルフ専門店として平方メートルになるという。

住宅街の多い杉並店は車での買い物客、そこら錦糸町店は鉄道を利用するサラリーマンらに対応、ほぼ同時期にオープンさせることで相乗効果を見込み、杉並店は開店から四日間で二億円の売り上げを目的としている。

ゴルフウエアや用品は、機能性商品の増加や顧客ニーズ多様化などにより、商品の種類が増加している。同社は大規模店化、豊富な品ぞろえ